

# < 安藤はるみの活動日誌 >

## 日本共産党青森県議会議員 安藤はるみの 新・アジサイだより



安倍さんは  
さっさとやめろ  
民の声

(はるみのワクワク川柳)



文書改ざん怒りの集会で



3.11 集会で吉沢さんと

- 2月6日～8日  
議会運営委員会で熊本県議会・福岡県議  
会を調査 (写真左下)
- 2月13日  
農林水産委員会で農林水産省・外務省に  
要望行動
- 2月21日  
農林水産委員会  
F16燃料投棄問題で県に申し入れ
- 2月23日～3月23日  
定例県議会
- 3月1日  
弘前高校・南高校の卒業式に出席
- 3月3日  
さようなら原発核燃3・11弘前集会参  
加 (希望の牧場吉沢正巳氏講演、安藤東  
通原発事故県避難計画を報告)  
(写真右下)
- 3月4日  
日本共産党津軽女性後援会「早春の集い」  
参加 (安藤「あずましい青森・日本にす  
るために」と題してお話) (写真左上)
- 3月16日  
森友文書改ざん徹底究明・安倍内閣退陣  
求める青森市民集会に参加 (写真右上)



「新春のつどい」にて



福岡県議会で

2月21日 農林水産委員会  
● F16燃料タンク投棄  
(20日)で  
漁業への影響と漁の解禁  
に向けた支援を

水産振興課長は「食の安全  
安心を確保する観点から出荷  
再開にあたり研究機関と連携  
しながらしっかりと行ってい  
たい」と答弁。安藤はさら  
に国と連携して休業補償につ  
いてしっかりと支援されるよう  
求めました。

● TPP11及び日EU・E  
PAによる影響と対策に  
ついて

農林水産部長は「農林水産  
業全体では1%、畜産関係で  
は7%の影響と試算してい  
る。影響を最小限にするため  
の対策を国と連動して図って  
いく」とし、りんごの施策取  
組について問うと、りんご果  
樹課長が「更なる生産力の向  
上や省力、低コスト化が重要  
で、高密度ワイ化栽培などの  
新たな技術導入などを推進し  
ていく」と答弁しました。

(高密度栽培・ワイ化栽培  
よりも50cmほど高くして栽培  
本数を300本程度密植す  
る)

ほっとタイム  
(防護措置)



2月23日から始まった定例県議  
会が3月23日に終わります。日本共  
産党から一般質問は諏訪益一議員が、  
出議案に対する質疑は松田勝議員が  
行いました。安藤晴美は2月補正予算  
追加提案に対する質疑と平成30年度  
の予算特別委員会、常任委員会での  
質問と続きました。何を質問するか  
の議案や質問する内容の調査、質問  
の組み立てと今回も息つく暇もない  
ほど大変でした。

詳しくは県議団便りでお知らせ  
しますが、原発関係で取り上げた質  
問にちょっと触れてみたいと思いま  
す。東通原発の事故が起きた時に備  
えて「要配慮者屋内退避施設確保事  
業」というのがあります。発電所から  
5キロ～30キロの区域にあり支  
援を必要とする人が一時退避(3日  
間ほど)する施設の防護措置をしま  
す。フィルターを備えた空調設備  
や窓枠部分の補強などを行います。  
社会福祉施設でこの措置をとるの  
は鉄筋の施設が対象で、今回の措  
置で16か所すべてが終了しますが、  
木造の入所施設51か所はそのまま  
です。今回のこれらの補正額は7億  
5600万円ほど。東通原発の30キ  
ロ圏内には4自治体で約7万人が暮  
らして、うち在宅要支援者は1600  
人、施設入所者2000人にも及びま  
す。要配慮者を含めすべての命を  
原発事故から守る道は原発をゼロ  
にするしかないと強調しました。

■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。2月の相談対応2件

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021  
10:00～15:00 (土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

ホームページアクセス数は2月は30,050件

Eメール ando.harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/